

中小企業地域資源  
活用促進法に基づく



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

わが市町村の  
ふるさと名物は  
これ!

往時の繁栄を今に  
伝える宿場町

やかげ  
**岡山県矢掛町**  
が応援するふるさと名物

**宿場町矢掛の街並み観光**

◎矢掛本陣 ◎矢掛脇本陣



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

**応援宣言**

やかげ  
**岡山県矢掛町**

地域の  
プロフィール



**岡山県**

岡山県の南西部にある矢掛町は、温暖な気候に恵まれた地域であり、主な産業は稲作を中心とした農業です。

また、矢掛町は歴史のまちでもあり、弥生時代の遺跡、古墳時代の古墳、奈良時代に活躍した右大臣・吉備真備ゆかりの地など多くの歴史的・文化的遺産があります。

特に、江戸時代には交通の便が良かったため旧山陽道の宿場町・矢掛宿として重要な役割を果たし、参勤交代の大名行列をはじめとして人の行き来が多く、人と物資の交流拠点となっていました。

このような歴史的背景を活かして、近年では観光による地域活性化に取り組んでいます。



やかげ観光大使やかっぴー

## ◆宿場町矢掛の街並み観光

本陣・脇本陣がある約800mの街並みは、地域の人々が守り続けてきたため現在も当時の面影を残しています。

本陣、脇本陣は一般に公開しており、本陣はボランティアによって当時の様子の説明を聞くことができます。街並みを散策する際にも、ガイドの案内によって見どころを逃さず観光できます。

矢掛の宿場まつり「大名行列」等の地域が主体となった四季折々のイベントも、この街並みを舞台に開催されます。

また、街並みには老舗の和菓子屋があり、江戸時代と変わらぬ製法で作られている「ゆべし」等を召し上がっていただくことができます。

このように、人と物資の交流拠点となっていた本陣・脇本陣を核とした宿場町矢掛の街並みを活用するとともに、近年では、古民家を活用した施設の整備により、景観の保全と賑わい創出に向けた取り組みを行い、観光による地域の活性化を目指しています。



矢掛の街並み



宿泊施設 矢掛屋



交流施設 やかげ町家交流館

活用する  
地域資源

## ◆矢掛本陣・矢掛脇本陣

参勤交代で往来する大名が宿泊した本陣，本陣の補佐的な役割を果たした脇本陣が当時の姿のまま健全に残されており，国指定の重要文化財となっています。

本陣・脇本陣の両方が国指定の重要文化財となっているのは全国で唯一矢掛町のみです。どちらの建物も規模が大きく建築の質も優れ，付属室にいたるまでよく保存され，希少価値が高いとされています。

また，宿札や古文書が多く残されており，当時の様子を知るための貴重な資料となっています。

この本陣・脇本陣が今も当時の風情を残す矢掛の街並みの核となっています。



矢掛本陣 上段の間



矢掛本陣 欄間



矢掛脇本陣 路地

## 町の 取り組み

### ◆矢掛本陣マラソン全国大会

毎年2月第3日曜日に開催される矢掛本陣マラソン全国大会では、2,000人以上のランナーが歴史情緒あふれる旧山陽道の街並みを駆け抜けます。大会の運営には、多くのボランティアが参加しており、また、沿道からの声援が大きいことが、ランナーから大変好評です。



### ◆矢掛町ブランドの認定

矢掛町には、豊かな自然と歴史という恵まれた環境で育まれた多くの農産物や観光土産品があり、これらの特産品を矢掛町ブランドとして認定しています。

矢掛本陣には、大河ドラマで有名になった篤姫が江戸へ向かう道中で矢掛本陣に宿泊したことが分かっていますが、その際に購入した「ゆべし」が矢掛町ブランドに認定されている等、本陣ゆかりの品物も多くあります。



ゆべし

## 地域の 取り組み

### ◆矢掛の宿場まつり「大名行列」

毎年11月第2日曜日には、旧山陽道の街並みを、総勢約80名からなる絢爛豪華な大名行列が、当時の姿そのままに、「したーに、したに」の掛け声とともに進みます。

地域の商工業者を中心とした実行委員会が、昭和51年の洪水被害からの復興のシンボルとして始め、矢掛町を代表するまつりとして3万人以上の観客で賑わいます。

ふるさと物産市、飛脚駅伝大会等多くのイベントも行われます。



### ◆観光ボランティア

本陣には、観光ボランティアが常駐し、見学に来られた方をご案内しています。

観光ボランティアによる当時の様子や建物の特徴についての丁寧な説明によって、本陣に関する知識が深まります。





ふるさと名物  
Furusato Meibutsu

応援宣言

平成28年3月18日

やかげ  
岡山県矢掛町



矢掛町に残る本陣・脇本陣をはじめとした往時の風情を保つ街並みは、地域の人々が誇りを持ち一体となって守り続けた地域の重要な資源です。

また、近年、街並みの魅力を増すため古民家再生事業を実施し、観光における拠点施設の整備を行いました。

これを契機に観光資源を活用した地域の活性化に積極的に取り組んでいるところであり、その成果によって街並みに賑わいが生まれつつあります。

このような背景を踏まえ、本町の一連の観光資源を組み合わせた矢掛の街並み観光を「ふるさと名物」として応援し、より一層の町の活性化につなげることをここに宣言します。

平成28年3月18日 矢掛町長 山野通彦